



Quark Publishing Platform 9.5.1.1 ReadMe

目次

Quark Publishing Platform 9.5.1.1 ReadMe.....	5
QPSコンポーネント.....	7
互換性マトリクス.....	7
サーバーコンポーネント.....	9
その他のオプションのコンポーネント.....	9
クライアントコンポーネント.....	9
必要システム構成.....	11
Webコンテナ.....	11
QPS Server : Mac OS.....	12
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	12
サポート対象のプラットフォーム*.....	12
QPS Server : Windows.....	12
ハードウェア.....	12
ソフトウェア.....	13
サポート対象のプラットフォーム*.....	13
Quark Publishing Platform Database*.....	13
QPS File Server : Mac OS.....	13
ハードウェアオプション.....	13
ソフトウェア.....	14
サポート対象のプラットフォーム*.....	14
QPS File Server : Windows.....	14
ハードウェア.....	14
ソフトウェア.....	14
サポート対象のプラットフォーム*.....	14
QPS File Server : Solaris.....	15
ハードウェア.....	15
ソフトウェア.....	15
QPS Connect Client : Mac OS.....	15
ハードウェア.....	15
ソフトウェア.....	15
サポート対象のプラットフォーム*.....	15
QPS Connect Client : Windows.....	16
ハードウェア.....	16
ソフトウェア.....	16
サポート対象のプラットフォーム*.....	16
Quark Publishing Platform Web ClientおよびWeb Admin.....	16

Quark Publishing Platform用Quark XML Author.....	16
Quark Publishing Platform用QuarkXPress.....	17
Quark Publishing Platform用QuarkCopyDesk	17
推奨ハードウェア構成.....	18
中規模のQuark Publishing Platformトラフィック.....	18
大規模のQPSトラフィック.....	19
Quark Publishing Platformソフトウェアのインストール.....	21
QPS Serverのインストール.....	21
Mac OS.....	21
Windows.....	23
Quark Publishing Platform Script Manager.....	24
QuarkXPress Serverのインストール.....	25
QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール.....	25
Mac OS.....	25
Windows.....	25
QPS Databaseのインストール.....	26
Quark Publishing Platform Databaseのインストール – HSQL DB.....	26
WindowsへのQuark Publishing Platformのインストーラ – MS SQL Server.....	26
WindowsへのQuark Publishing Platformのインストーラ – Oracle.....	27
Linux上のOracleのQPSスキーマの設定.....	28
QPS Connect Clientのインストール.....	29
Mac OS.....	29
Windows.....	29
Quark Publishing Platform用Quark XML Authorのインストール.....	29
QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール.....	29
Mac OS.....	30
Windows.....	30
インストール後に変更を行うには.....	32
QuarkXPress Serverロケールの識別.....	32
QPS ServerへのRAMの割り当て.....	33
Quark Publishing Platformソフトウェアの更新.....	35
Quark Publishing Platform Serverの更新 (Mac OS)	35
Quark Publishing Platform Serverの更新 (Windows)	36
QPS Clientの更新 (Mac OS)	37
QPS Clientの更新 (Windows)	37
QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsの更新.....	38
Quark Publishing Platform 9.5.1へのアップグレード.....	39
QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsのアップグレード.....	39
Quark Publishing Platform Serverのアップグレード (Mac OS)	39
Quark Publishing Platform Server のアップグレード (Windows)	
.....	40

QPS Databaseのアップグレード.....	41
Quark Publishing Platform データベースのアップグレード：HSQL.....	42
Quark Publishing Platform データベースのアップグレード（Windows）：MSSQL Server または Oracle.....	42
Quark Publishing Platform データベースのアップグレード（Linux）：Oracle.....	43
QPS XDKのドキュメント.....	44
QPS Serverの起動.....	45
Mac OS.....	45
Windows.....	45
QXP Serverの再起動の自動化.....	45
アンインストール.....	47
QPS Serverのアンインストール.....	47
Mac OS.....	47
Windows.....	47
QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール.....	47
Mac OS.....	47
Windows.....	48
Quark Publishing Platform用Quark XML Authorのアンインストール.....	49
このバージョンにおける変更点.....	50
既知および解決済みの問題.....	54
Quarkへの連絡.....	55
南北アメリカ.....	55
南北アメリカ以外の国々.....	55
オーストラリア.....	56
法律上の注記.....	57

Quark Publishing Platform 9.5.1.1 ReadMe

Quark® Publishing Platform™は複数のモジュールから構成されています。これらのモジュールが連携して、エンタープライズパブリッシングのあらゆる局面を強化します。既存の業務システムとの統合から、迅速な構造化オーサリングの実現まで、Quark Publishing Platformは、コスト削減、商品化までの時間の短縮、顧客エンゲージメントや顧客満足度の向上を可能にする、エンドツーエンドのパブリッシングシステムです。本書には、ハードウェア要件およびソフトウェア要件の評価、環境の準備、およびQuark Publishing Platformのインストールに関する重要な情報が含まれています。その他のドキュメントは、Quark Publishing Platformをダウンロードした場所からダウンロードできます。

Quark Publishing Platformを初めてインストールする場合は、以下の順序で各コンポーネントをインストールする必要があります。

手順	ノート
Quark Publishing Platform Server 9.5.1.1をインストールするか、Quark Publishing System 9.2、9.5または9.5.1を9.5.1.1にアップグレードします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing Platform
QuarkXPress Server 9.5.1をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing Platform
QuarkXPress Server 9.5.1用Quark Publishing Platform XTensions®をインストールします。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing Platform
Quark Publishing Platformデータベースをインストールまたはアップグレードします。	「 QPS Databaseのインストール 」を参照してください。
QuarkXPress® 9.5.1をインストールするか、QuarkXPressのバージョン9.0、9.1、9.2、9.3または9.5を9.5.1に更新します。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing Platform
QuarkCopyDesk® 9.5.1をインストールするか、QuarkCopyDeskのバージョン9.0、9.1、9.2、9.3または9.5を9.5.1に更新します。	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing Platform
Quark Publishing Platform Client 9.5.1をインストールするか、Quark Publishing Systemのバージョン9.0、9.1、9.2または	インストーラは qallianceftp.quark.com の下記の場所から入手できます。 /Distribution/Quark Software/Quark Publishing Platform

QUARK PUBLISHING PLATFORM 9.5.1.1 README

手順	ノート
9.5をQuark Publishing Platform Client 9.5.1に更新します	

➡ qallianceftp.quark.comにアクセスできない場合は、enterprisesupport@quark.com宛てにメールでお問い合わせください。

QPSコンポーネント

QPSには、サーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントが含まれています。これらのコンポーネントは、下記のハードウェアおよびソフトウェアの構成で正常に動作することが確認されています。

互換性マトリクス

以下の表は、Quark Publishing Platform 8.1から9.5までと互換性があるQuarkソフトウェアのバージョンを示しています。I=インストーラあり、U=アップデートあり。

Quark Publishing Platformソリューション	バージョン8.1	バージョン8.130	バージョン8.140	バージョン8.160	バージョン8.5	バージョン9.0	バージョン9.1	バージョン9.2	バージョン9.2.0.1	バージョン9.5	バージョン9.5.1	バージョン9.5.1.1
QuarkXPress	8.1	8.12	8.12	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2 (I/U)	9.5 (I/U)	9.5.1 (I/U)	9.5.1.1
QuarkXPress用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェア	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2 (Mac OS) 、 9.2.0.1 (Windows) (I/U)	9.5 (I/U)	9.5.1 (I/U)	9.5.1.1 (I/U)
QuarkCopyDesk	8.1	8.13	8.14	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2 (I/U)	9.5 (I/U)	9.5.1 (I/U)	9.5.1.1 (I/U)
QuarkCopyDesk用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェア	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2 (Mac OS) 、 9.2.0.1 (Windows) (I/U)	9.5 (I/U)	9.5.1 (I/U)	9.5.1.1 (I/U)
QuarkXPress Server	8.1	8.12	8.14	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2.0.1 (I/U)	9.5 (I/U)	9.5.1 (I)	9.5.1.1 (I)
QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェア	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2.0.1 (I/U)	9.5 (I)	9.5.1 (I)	9.5.1.1 (I)

Quark Publishing Platformソリューション	バージョン8.1	バージョン8.130	バージョン8.140	バージョン8.160	バージョン8.5 (I/U)	バージョン9.0	バージョン9.1	バージョン9.2 (I/U)	バージョン9.2.0.1 (Mac OS)、9.2.0.1 (Windows) (I/U)	バージョン9.5 (I/U)	バージョン9.5.1 (I/U)	バージョン9.5.1.1 (I/U)
Quark Publishing Platform Client	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2 (Mac OS)、9.2.0.1 (Windows) (I/U)	9.5 (I/U)	9.5.1 (I/U)	9.5.1.1 (I/U)
Quark Publishing Platform Server	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2 (I/U)	9.2.0.1 (I/U)	9.5 (I/U)	9.5.1 (I/U)	9.5.1.1
Quark Publishing Platform Server XDK	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2	9.2.0.1 (I)	9.5 (I)	9.5.1 (I)	9.5.1.1 (I)
Quark Publishing Platform Client XDK	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2	9.2.0.1 (I)	9.5 (I)	9.5.1 (I)	9.5.1.1 (I)
Quark Publishing Platform XTensions XDK for QuarkXPress	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2	9.2	9.5	9.5.1	9.5.1.1 (I)
Quark Publishing Platform XTensions XDK for QuarkCopyDesk	8.1	8.130	8.140	8.160	8.5 (I/U)	9.0	9.1	9.2	9.2	9.5	9.5.1 (I)	9.5.1.1 (I)
Quark Publishing Platform用 Quark XML Author	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.5	9.5.1 (I)	9.5.1.1 (I)
Alfresco® 3.1 用Quark Publishing Platform Adapter	8.1, 8.10.1	8.10.1	8.10.1	8.10.1	—	—	—	—	—	—	—	—
InDesign CS4 およびInCopy CS4用 Quark Publishing Platform Connect	8.1	8.1	8.1	8.160	8.5 (I/U)	—	—	9.2	9.2	—	—	—
SharePoint 2010用Quark Publishing	—	—	—	—	8.5 (I)	9.0	9.1	9.2 (I)	9.2 (I)	—	—	—

Quark Publishing Platformソリューション	バージョン8.1	バージョン8.130	バージョン8.140	バージョン8.160	バージョン8.5	バージョン9.0	バージョン9.1	バージョン9.2	バージョン9.2.0.1	バージョン9.5	バージョン9.5.1	バージョン9.5.1.1
Platform Adapter												
Automation Services	—	—	8.1	8.160	8.5 (I)	9.0.1	9.1	9.2 (I)	9.2 (I)	9.5 (I)	9.5.1 (I)	9.5.1.1 (I)
Altova® MapForce®	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r1	2010 r3	2010 r3	2010 r3	2010 r3	2010 r3	2010 r3	2010 r3	2010 r3
Quark Publishing Platform Portal Services	—	—	8.140	8.160	—	—	—	—	—	—	—	—

サーバーコンポーネント

- QPS Serverソフトウェア
- QPS File Server
- QuarkXPress® Server（最小システム構成およびインストール手順については、*QuarkXPress Server ReadMe*ファイルを参照してください）
- Quark® License Administrator (QLA) 4.5（Quarkソフトウェアのライセンス管理用）

その他のオプションのコンポーネント

- Oracle® 11gR2を使用したQuark Publishing Platformデータベース（Windows® またはLinux）
- Microsoft® SQL Server® 2008 SP1、Microsoft SQL Server 2008 R2またはMicrosoft SQL Server 2012を使用したQuark Publishing Platformデータベース
- Quark Publishing Platform Script Manfager（タスクの自動化用）
- Automation Services

クライアントコンポーネント

- Quark Publishing Platform Client
- QuarkCopyDesk用QuarkCopyDesk with Quark Publishing Platform XTensions®ソフトウェア
- QuarkXPress用QuarkXPress with Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェア
- Quark Publishing Platform用Quark XML Author
- Quark Publishing Platform Web Client

QPSコンポーネント

- Quark Publishing Platform Web Admin Client

必要システム構成

下記のQuark Publishing Platformの必要システム構成は一般的な要件に対応するものです。システムパフォーマンスは、ユーザー数やアセット数、アセットリビジョン数によって変動します。アスタリスクが付いた要件は、これらの可変条件によって左右されます。これらの可変条件を考慮するための指針については、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。必要なRAM容量には、他のサードパーティアプリケーションに必要なメモリは考慮されていません。したがって、要件に合わせて必要なRAM容量は確保してください。また、QuarkXPress Server、QuarkXPress、およびQuarkCopyDeskの要件は下記には含まれていません。必要システム構成については、これらのアプリケーションのReadMeファイル（アプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内）を参照してください。

- ➡ 本書に記載されたオペレーティングシステムの要件には、最新のパッチおよびサービスパックが含まれています。
- ➡ Quark Publishing Platformは、VMWare ESXi対応確認済みです。QuarkXPress Serverは、Quark Publishing Platformの一部としてのみVMWare ESXi対応確認済みです。
- ➡ Quark Publishing Platformは、Citrix Presentation Server 4.5およびCitrix XenApp 5.0との動作が確認されています。
- ➡ Quark Publishing Platform ServerはMac OSと互換性がありますが、Mac OSでの実行は推奨されません。

Webコンテナ

Quark Publishing Platformは、次のWebコンテナを実行できます。

- Apache Tomcat（埋め込みまたは外部） 7.0.29
- Oracle WebLogic 12.1
- IBM WebSphere 7.1または8.5

QPS Server : Mac OS

ハードウェア

- 合計4GBのRAM（少なくとも、RAMの合計空き容量の半分をQPS Serverに割り当てることをお勧めします）*
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Mac OS X Server 10.6.2、10.7.x、または10.8.2（実稼働環境では推奨されません）
- Java™ Development Kit (JDK™) 1.6
- XQuartz (<http://xquartz.macosforge.org/landing/>) Mac OS X 10.8.2を使用している場合
- Quark License Administrator (QLA) 4.5（Quark Publishing Platform ServerおよびQuarkXPress Serverに必要になります）
- QuarkXPress Server（QuarkXPress ServerはQuark Publishing Platform Serverに必要になります。Quark Publishing Platform Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることを推奨します）

サポート対象のプラットフォーム*

- Intelプロセッサ（推奨）
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
- Microsoft Hyper-V 2012
- Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro

QPS Server : Windows

ハードウェア

- 合計4GBのRAM（QPS Serverにできるだけ多くのRAMを割り当てることをお勧めします。ただし、Windows®で約1.6GBを超える割り当てを行うことはできません）*
- 1GBのハードディスクの空き容量*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Windows Server 2008 R2、64ビット
- Windows Server 2003 SP3、64ビット（実稼働環境では推奨されません）
- .NET Framework 3.5 SP1
- Java Development Kit (JDK) 1.6
- Quark License Administrator (QLA) 4.5（Quark Publishing Platform ServerおよびQuarkXPress Serverに必要なになります）
- QuarkXPress Server（QuarkXPress ServerはQuark Publishing Platform Serverに必要なになります。Quark Publishing Platform Serverをインストールおよび実行するコンピュータとは別のコンピュータでQuarkXPress Serverをインストールおよび実行し、パフォーマンスを向上させることを推奨します）

サポート対象のプラットフォーム*

- マルチコアXeon®プロセッサベースのサーバー
- Intel® Core™ 2 Duo
- VMware ESXi（仮想化プラットフォーム）

Quark Publishing Platform Database*

- 埋め込みモードのHSQL DB 1.8（インストール時にHSQL DBを選択した場合、Quark Publishing Platform Serverインストーラによってこのデータベースが埋め込みモードでインストールされます。このデータベースは開発用に推奨され、実稼働環境では推奨されません）
 - Microsoft SQL Server 2008 R2（Standard EditionまたはEnterprise Edition）またはMicrosoft SQL Server 2012（Standard EditionまたはEnterprise Edition）
 - Red Hat Enterprise Linux 5、Microsoft Windows Server 2003またはMicrosoft Windows Server 2008上で動作するOracle Database 11gR2
- ➡ Microsoft SQL Serverデータベースを使用する場合、先にMicrosoft SQL Serverをインストールする必要があります。WindowsでOracleデータベースを使用する場合には、まずOracleをインストールする必要があります。次に、インストーラである"Quark Publishing Platform Server.exe"をWindowsで実行して**QPP Databaseのインストール**をクリックし、画面の指示に従って、Quark Publishing PlatformスキーマをMicrosoft SQL ServerデータベースまたはOracleデータベースに作成します。

QPS File Server : Mac OS

ハードウェアオプション

- 合計2GBのRAM*
- 5~150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

必要システム構成

- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Mac OS X サーバー10.4.11、10.5.8、10.6.2、10.7.x、10.8.x
- Mac OS X 10.4.11、10.5.8、10.6.2、10.7.x、10.8.x

サポート対象のプラットフォーム*

- Intelプロセッサ（推奨）
 - Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているIntel® Xserveコンピュータ
 - G5 PowerPC®プロセッサ（サポート対象ですが、非推奨）
 - Mac OS X Serverソフトウェアを実行するG5 Xserve®（サポート対象ですが、非推奨）
 - Mac OS X Serverソフトウェアが稼働しているMac Pro
- ➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することをお勧めします。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5~150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Windows

ハードウェア

- 合計2GBのRAM*
- 5~150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*
- TCP/IPネットワーク（Gigabit Ethernetを推奨）

- ➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

ソフトウェア

- Microsoft Windows Server 2003 SP3 64ビット（Standard EditionまたはEnterprise Edition）（実稼働環境では推奨されません）
- Microsoft Windows Server 2008 R2 64ビット（Standard EditionまたはEnterprise Edition）

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Edition（推奨）が稼働しているIntel vPro™テクノロジーおよびIntel Core 2 Duo

- Windows 2003 Server SP2 Standard EditionまたはEnterprise Editionが稼動しているシングルプロセッサのIntel® Pentium® 4/Pentium D/デュアルプロセッサのXeon

➡ 独立したコンピュータをQPS File Serverとして使用することは可能ですが、QPS File Serverによって読み取り処理と書き込み処理が最適化されるため、QPS ServerをQPS File Serverと同じコンピュータにインストールして実行することを推奨します。QPS ServerとQPS File Serverを同じコンピュータで組み合わせる場合、QPS File Serverに必要な5~150GBに、QPS Serverのファイル用に1GB（概算値）を追加してください。

QPS File Server : Solaris

ハードウェア

- SPARC™ベースまたはx64/x86ベースのシステム
- 合計2GBのRAM
- 5~150GBのハードディスクの空き容量（アセット数によって異なります）*

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことを推奨します。

ソフトウェア

- Sun™ Solaris™ 8以降

QPS Connect Client : Mac OS

ハードウェア

- 合計1GBのRAM*（2GB以上推奨）
- プログラムファイル用に2GBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量
- 32ビットまたは64ビット
- TCP/IPネットワーク

ソフトウェア

- Mac OS 10.6.8、10.7.x、または10.8.x

サポート対象のプラットフォーム*

- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のiMac
- Mac OS Xクライアントソフトウェアが稼動しているIntel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMacBookまたはMacBook Pro
- Mac OS Xクライアントソフトウェアを実行するMac Pro
- Intel Core DuoまたはIntel Core 2 Duoプロセッサ搭載のMac mini

QPS Connect Client : Windows

ハードウェア

- 合計1GBのRAM* (2GB以上推奨)
- プログラムファイル用に1GBのハードディスクの空き容量、チェックアウト済みアセットを格納するための十分なハードディスクの空き容量
- 32ビットまたは64ビット (Windows 7のみ)

ソフトウェア

- Microsoft Windows XP SP2 (Professional Edition) またはWindows 7 SP1 (Business EditionまたはUltimate Edition)
- .NET Framework 3.5 SP1

サポート対象のプラットフォーム*

- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼働しているIntel Core 2 Duoプロセッサ
- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼働しているIntel Xeonプロセッサ
- Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼働しているIntel vProテクノロジーおよびIntel Core 2 Duo
- Windows XP Professional Edition、Windows Vista Business EditionまたはUltimate Edition、Windows 7 Professional Editionが稼働しているIntel Pentium 4プロセッサ

Quark Publishing Platform Web ClientおよびWeb Admin

- Mac OSまたはWindows用Google Chrome (最新バージョン)
- Mac OSまたはWindows用Mozilla Firefox (最新バージョン)
- Windows用Microsoft Internet Explorer 8または9
- Mac OS用Safari 5.x

➡ * 詳細は、「[推奨ハードウェア構成](#)」を参照してください。

Quark Publishing Platform用Quark XML Author

Quark Publishing Platformは、Quark XML Author 4.2に対応しています。Quark XML Authorの必要システム構成については、『Quark XML Author **ReadMe**』を参照してください。

Quark Publishing Platform用QuarkXPress

Quark Publishing Platformは、QuarkXPress 9.5に対応しています。QuarkXPressの必要システム構成については、『QuarkXPress **ReadMe**』を参照してください。

Quark Publishing Platform用QuarkCopyDesk

Quark Publishing Platformは、QuarkCopyDesk 9.5に対応しています。QuarkCopyDeskの必要システム構成については、『QuarkCopyDesk **ReadMe**』を参照してください。

推奨ハードウェア構成

以下の要因を考慮して、組織に必要なハードウェアを特定してください。変動要素には、ユーザー数、アセットの数、アセットの種類（サイズの小さいテキストファイル、サイズの大きい画像ファイルなど）、アセットのリビジョン数があります。アセットを検索するとき、QPS Serverのパフォーマンスはマスターファイルの数（各アセットの現在のバージョン）に左右されます。リビジョンの数はQPS Serverのパフォーマンスに影響しませんが、リビジョン番号の変動要素はQPS File Serverに必要なディスク容量に影響します。また、複数のユーザーからの検索処理数を増やしても、QPS Serverのパフォーマンスに影響することがあります。

アカウント管理者に問い合わせて、以下の推奨構成に基づいて組織のニーズを特定してください。小容量、中容量、大容量の各構成は、QPS Connect Clientウィンドウの**ユーザーアクティビティ**画面に表示されるログオンユーザー数（ユーザーセッション数）に基づいた推定です。

➡ サーバーコンピュータとしてローエンドのデスクトップコンピュータおよびノートPCを使用しないことをお勧めします。

中規模のQuark Publishing Platformトラフィック

下記の構成で、中規模のQuark Publishing Platformワークフロー（約50ユーザーおよび20,000アセット）を適切に処理できます。Quark Publishing Platform DatabaseにRedundant Array of Independent Drives (RAID) を使用することで、アセットへのアクセスパフォーマンスが向上します。このオプションでは、サーバーコンピュータを3台で構成することを提案しています。

コンピュータ1： Quark Publishing Platform Database (Microsoft SQL Server or Oracle)

- **RAM** : 8GB
- **ハードディスク** : 20GBの空き容量
- **RAID** : RAID 1+0
- **CPU** : 4 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）

- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ2：Quark Publishing Platform Server, Quark Publishing Platform File Server

- RAM：8GB（1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- ハードディスク：1GBの空き容量（アセットに必要な5～150GB以外）
- RAID：不要
- CPU：4 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ3：QuarkXPress Server（4つのサブレンダラ）

- RAM：8GB
- ハードディスク：10～20GB（ドキュメントプール用）
- RAID：不要
- CPU：4 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

➡ QuarkXPress Serverコンポーネントを追加することで、ハードウェア冗長性を高めることができます。

大規模のQPSトラフィック

下記の構成で、大規模のQPSワークフロー（150ユーザーおよび60,000アセット以上）を適切に処理できます。この規模を超える要件の場合は、enterprisesupport@quark.com にお問い合わせください。

コンピュータ1：QPS Database（Microsoft SQL ServerまたはOracle）

- RAM：8GB
- ハードディスク：40GBの空き容量
- RAID：RAID 1+0
- CPU：8 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ2：QPS Server、QPS File Server

- RAM：8GB（1.5GBはJava Virtual Machineへの割り当て）
- ハードディスク：1GBの空き容量（アセットに必要な5～150GB以外）
- RAID：不要
- CPU：8 Core Intel Xeon、64ビット（推奨）
- ネットワーク：ギガビットNIC（推奨）

コンピュータ3：QuarkXPress Server（8つのサブレンダラ）

推奨ハードウェア構成

- RAM : 8GB
- ハードディスク : 10~20GB (ドキュメントプール用)
- RAID : 不要
- CPU : 8 Core Intel Xeon、64ビット (推奨)
- ネットワーク : ギガビットNIC (推奨)

Quark Publishing Platformソフトウェアのインストール

Quark Publishing Platformには、サーバーおよびクライアントコンポーネントのための、複数のインストーラが含まれます。これらのインストーラは、以下の順序で実行しなければなりません。以下の順序に従わないと、すべてのQuark Publishing Platformソフトウェアのインストールを完了した後で手動でファイルをコピーしなければなりません。

- 1 QuarkXPress Serverをインストールします。
- 2 QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアをインストールします（Quark Publishing Platform Serverインストーラに付属）。
- 3 Quark Publishing Platform Databaseをインストールします。
- ➡ Microsoft SQL ServerデータベースをQuark Publishing Platformとともに使用するよう設定している場合は、Microsoft SQL Serverソフトウェアのインストール時にWindows認証は使用しないでください。代わりに、混在モード認証を使用します。
- 4 Quark Publishing Platform Serverをインストールします。
- 5 QuarkCopyDeskをインストールします。
- 6 QuarkXPressをインストールします。
- 7 Quark Publishing Platform Connect Clientをインストールします(このインストーラにより、QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressのQuark Publishing Platform XTensionsソフトウェアもインストールされます)。
- 8 Quark Publishing Platform用Quark XML Authorをインストールします。

QPS Serverのインストール

Mac OS

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。

- 2 QPP Server Installerをダブルクリックします。
QPP Serverウィンドウが表示されます。
- 3 QPP Serverのインストールをクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 続けるをクリックし、ライセンス契約を読んでから、次へ、そして同意するをクリックします。
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、次へをクリックします。
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名をホスト名またはIPアドレスフィールドに入力します。
- 7 ポートフィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、IPアドレスまたはホスト名およびポート番号をバックアップのホスト名またはIPアドレスおよびポートフィールドに入力します。
- 9 次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、データベース選択コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
 - HSQLデータベースとスキーマの埋め込みを選択すると、デフォルト（埋め込みモードではHSQL DB）がグレーで表示されます。
 - すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、SQL Serverがグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、ポート、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsへのQuark Publishing Platformのインストーラ - MS SQL Server](#)」を参照してください。
 - Oracleデータベースの使用を選択すると、Oracleがグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、データベースユーザー名、およびデータベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。
- 11 Quark Publishing Platform Serverをサービスとして実行するには、Quark Publishing Platform (Server)をサービスとしてインストールをオンにします。次へをクリックしてインストールを続行します。
QuarkXPress Server情報画面が表示されます。
- 12 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、次へをクリックします。
インストール先の選択画面が表示されます。
- 13 Quark Publishing Platform Serverの場所を選択し、続けるをクリックしてからインストールをクリックします。
- 14 インストールが完了すると、インストーラは次の操作を実行します。

- "ServerStartup.command"ファイルからQuark Publishing Platform Serverが自動的に実行され、ターミナルウィンドウが表示されます（その後は、Server Consoleからサーバーを開始または停止できるようになります）。
- デフォルトのWebブラウザにQuark Publishing Platformホームページが表示されま

Windows

Quark Publishing Platform Server アプリケーションをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- ➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要があります。バリデーションコードは選択するデータベースに関連付けられています（埋め込みHSQLデータベース、Microsoft SQL Server、Oracle）。
- 2 "setup.exe"ファイルをダブルクリックします。次の3つのオプションを持つ**Quark Publishing Platform インストーラ**の画面が表示されます。 **Install QPP XTensions Software for QuarkXPress Server, Install QPP Database, and Install QPP Server.**
- 3 **QPP Serverのインストール**をクリックして、**次へ**をクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックし、**次へ**をクリックします。
ソフトウェアの認証画面が表示されます。
- 5 バリデーションコードを入力し、**次へ**をクリックします。
ライセンスサーバーの情報画面にシリアル番号とインストール日が表示されます。
- 6 Quark License Administrator (QLA) コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を**ホスト名またはIPアドレス**フィールドに入力します。
- 7 **ポート**フィールドにポート番号を入力します。
- 8 QLAバックアップサーバーを使用する場合は、ホスト名またはIPアドレスおよびポート番号を**バックアップのホスト名またはIPアドレス**および**ポート**フィールドに入力します。
- 9 **次へ**をクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 10 手順5で入力したバリデーションコードは、**データベース選択**コントロールにグレーで表示される選択したデータベースに対応しています。その他のオプションは、選択によりさまざまです。
 - バリデーションコードがHSQLデータベースとスキーマを指定していると、**デフォルト (埋め込みモードのHSQL DB)** がグレーで表示されます。
 - すでにインストールしたMicrosoft SQL Serverデータベースの使用を選択すると、**SQL Server**がグレーで表示されます。Microsoft SQL Serverデータベースサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパ

パスワードを入力します。詳細は、「[WindowsへのQuark Publishing Platformのインストーラ – MS SQL Server](#)」を参照してください。

➡ このデータベースのデフォルトのポートは1433ですが、番号が違う可能性もあります。番号を調べるには、SQL Server Configuration Managerでデータベースのインスタンスを確認します。

- Oracleデータベースの使用を選択すると、**Oracle**がグレーで表示されます。Oracleサーバーのホスト名、インスタンス名、ポート番号、データベースユーザー名、データベースユーザーパスワードを入力します。詳細は、「[WindowsへのQuark Publishing Platformのインストーラ – Oracle](#)」を参照してください。

11 **次へ**をクリックします。

インストール先フォルダ画面が表示されます。

12 Quark Publishing Platform Server Windowsサービスの設定には、**システム選択**ドロップダウンメニューのオプションを選択してください。

- ローカルシステムアカウント制御を指定するには、**ローカル**を選択します。
- ドメインユーザー制御を指定するには、**ドメイン**を選択して、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力します。

➡ **ドメイン**を選択した場合は、コンピュータの管理権限を持つアカウント名を入力します。

13 **次へ**をクリックします。

QuarkXPress Server情報画面が表示されます。

14 QuarkXPress ServerのIPアドレスとポート番号を入力し、**次へ**をクリックします。

アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。

15 **インストール**をクリックします。

16 インストールが完了すると、インストーラは次の操作を実行します。

- Quark Publishing Platform Serverコンソールが自動的に開き、Quark Publishing Platform Serverが開始されます。初回起動後は、コンソールからQuark Publishing Platform Serverを開始および停止できます。
- デフォルトのWebブラウザにQuark Publishing Platformホームページが表示されます。

Quark Publishing Platform Script Manager

Quark Publishing Platform Script Managerでは、Quark Publishing Platform Serverのタスクをスクリプトを使用して自動化できます。Quark Publishing Platform Script Managerは、「Quark Publishing Platform Server」アプリケーションフォルダの「ScriptManager」フォルダにインストールされます。Quark Publishing Platform Script Managerを別のコンピュータにインストールするには、Quark Publishing Platformの「ScriptManager」フォルダを別のコンピュータにコピーします。

Quark Publishing Systemのバージョン8.1から9.2までは、Script Managerの使用許諾が必要です。Quark Publishing Platform 9.5では、Script Managerの個別の使用許諾は必要ありません。

QuarkXPress Serverのインストール

QuarkXPress Serverのインストールに関する詳細は、QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダのルートレベルにある"Documents"フォルダ内の**QuarkXPress Server ReadMe**ファイルを参照してください。**ポートとフォルダの設定**画面が表示されたら**HTTPインターフェイスを使用**をオンにして、ポート番号を入力します。QPS Serverを入力するときに必要になるため、ポート番号を記録します。また、**ファイルシステムのドキュメントプールを使用**をオンにして**参照**をクリックし、場所を指定します。

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストール

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアのインストーラファイルをQuarkXPress Serverコンピュータで実行してください。

Mac OS

QuarkXPress Server用QPS XTensionsソフトウェアをインストールするには、以下の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にし、インストールを行ってください。
- 2 **QPS Server Installer**をダブルクリックします。
QPS Serverウィンドウが表示されます。
- 3 **QuarkXPress Server用QPS XTensions Softwareをインストールします**をクリックします。
認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 4 **続ける**をクリックし、ライセンス契約を読んでから、**続ける**、**同意する**、**インストール**の順にクリックします。
XTensionsソフトウェアのファイルがインストーラによってコピーされます。
- 5 **終了**をクリックして、インストールを終了します。

Windows

QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsをインストールするには、次の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "Quark Publishing Platform Server.exe"ファイルをダブルクリックします。次の3つのオプションを持つ**Quark Publishing Platform インストーラ**の画面が表示されます。
Install QPP XTensions Software for QuarkXPress Server, **Install QPP Database**, and **Install Quark Publishing Platform Server**.
- 3 **QPP XTensions Software for QuarkXPress Serverをインストールします**をクリックし、画面の指示に従います。

QPS Databaseのインストール

QPS Databaseのインストール方法には、下記の3つのオプションがあります。HSQL DB、MS SQL Server、およびOracleです。以下の手順に従ってください。

Quark Publishing Platform Databaseのインストール — HSQL DB

HSQL Quark Publishing Platform Databaseをインストールする場合、Quark Publishing Platform Serverインストーラを実行すると、Quark Publishing Platformはデータベースを埋め込みます。Quark Publishing PlatformスキーマをHSQLデータベースにインストールするために独立したデータベースインストーラを実行する必要はありません。詳細は、「[QPS Serverのインストール](#)」を参照してください。

WindowsへのQuark Publishing Platformのインストーラ — MS SQL Server

Microsoft SQL ServerのMS SQL Server Databaseをインストールする前に、MS SQL ServerをWindowsにインストールして設定する必要があります。Quark Publishing Platform Databaseは、Quark Publishing Platform Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQuark Publishing Platform Server Installer ("Quark Publishing Platform Server.exe") を使ってインストールできます。MS SQL ServerのQuark Publishing Platform Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing Platform Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
➡ "Quark Publishing Platform Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPP Database**のインストールをクリックしても、**Quark Publishing Platform Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 **次へ**をクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックしてから**次へ**をクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 **データベースタイプ選択**ドロップダウンメニューから**SQL Server**を選択し、**次へ**をクリックします。
MS SQL Server情報を入力する画面が表示されます。
- 6 **ホスト/インスタンス名**フィールドに[ホスト名]¥[インスタンス名]を入力します。インスタンス名は、デフォルトのインスタンス (MSSQLSERVER) を使用しない場合のみ必要です。
- 7 作成するQuark Publishing Platform Databaseの名前を**データベースユーザー名**フィールドに入力します。インストーラによってこの名前のデータベースが作成されます。次に、同じ名前のログインが作成され、そのログインにdb_ownerロールが付与されます。
- 8 **データベースパスワード**フィールドに、ログインのパスワードを入力します。

- 9 データベースインストール先フォルダ領域の参照をクリックして、データベースデータファイルを保存するパスを指定します。
- 10 次へをクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 11 インストールをクリックします。
- 12 インストールが完了したら、完了をクリックします。

WindowsへのQuark Publishing Platformのインストーラ — Oracle

OracleのQuark Publishing Platform Databaseをインストールする前に、Oracleをインストールして設定する必要があります。Windows上のOracleのQuark Publishing Platform Databaseは、Quark Publishing Platform Databaseインストーラ ("Installer > Database"フォルダ内の"Setup.exe") またはQuark Publishing Platform Server Installer ("Quark Publishing Platform Server.exe") を使ってインストールできます。

- ➡ Linux上のOracleのQuark Publishing Platform Databaseのインストールについては、「[Linux上のOracleのQPSスキーマの設定](#)」を参照してください。

OracleのQuark Publishing Platform Databaseをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "Installer > Database"フォルダの"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。
Quark Publishing Platform Database — 設定ダイアログボックスが表示されます。
- ➡ "Quark Publishing Platform Server.exe"ファイルをダブルクリックしてから**QPP Database**のインストールをクリックしても、**Quark Publishing Platform Database — 設定**ダイアログボックスにアクセスできます。
- 3 次へをクリックします。
ライセンス契約書画面が表示されます。
- 4 **ライセンス契約書の条項に同意します**をクリックしてから次へをクリックします。
データベース情報画面が表示されます。
- 5 **データベースタイプ選択**ドロップダウンメニューから**Oracle**を選択し、次へをクリックします。
Oracleデータベース情報を入力する画面が表示されます。
- 6 **インスタンス名**フィールドにOracleサービス名を入力します。
- 7 **SYSパスワード**フィールドにデータベースSYSユーザーのパスワードを入力します。
- 8 作成するQuark Publishing Platformスキーマの名前を**スキーマ名**フィールドに入力します。
- 9 **スキーマパスワード**フィールドにQuark Publishing Platformスキーマのパスワードを入力します。

- 10 データファイル、索引ファイル、およびLOBファイルを保存するパスを、**保存先フォルダ**領域から選択します。
- 11 **次へ**をクリックします。
アプリケーションをインストールする準備ができました画面が表示されます。
- 12 **インストール**をクリックします。
- 13 インストールが完了したら、**完了**をクリックします。

Linux上のOracleのQPSスキーマの設定

QPSスキーマを設定する前に、Oracleがコンピュータにインストール済みで、QPSスキーマを設定するデータベースがあることを確認してください。QPSパッケージに含まれている、QPSスキーマをOracle用に作成するスクリプトでは、データベースは作成されません。

- 1 "Oracle"フォルダ内の"Create"フォルダを開きます。
- 2 QPSスキーマを作成するには、"CreateAndSetup.sh" (Mac OS/Linux) または"CreateAndSetup.bat" (Windows) を、以下の引数を指定して実行します。
 - **SysPwd** : データベースのSYSユーザーのパスワード
 - **QPPUser** : 作成するQPSスキーマ名
 - **QPPPwd** : QPSスキーマのパスワード
 - **ServiceName** : Oracleサービス名
 - **DataDest** : データファイルが作成されるパス
 - **IdxDest** : 索引ファイルが作成されるパス
 - **LobDest** : lobファイルが作成されるパス
- 3 スクリプトは、下記の操作を行います。
 - テーブルスペースの作成
 - スキーマ/ユーザーの作成
 - テーブルの作成
 - 索引の作成
 - プロシージャの作成
 - 設定データの初期化
 - ユーザーデータの初期化
 - 外部キーの作成
 - Quartzスキーマの作成
- 4 上記のそれぞれのタスク用に提供される個々のスクリプトを使うことができますが、"CreateAndSetup.sh"または"CreateAndSetup.bat"を実行してプロンプトに従って情報を入力することをお勧めします。

QPS Connect Clientのインストール

Mac OS

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルにウィルスチェックを実行し、ウィルス検出ソフトウェアを無効にしてから、インストールを行ってください。
- 2 "QPS Connect Client - Setup.mpkg"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

Windows

QPS Connect Clientをインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、インストーラファイルでウィルスチェックを実行してからインストールの前にウィルス検出ソフトウェアを無効にしてください。
- 2 "Setup.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

➡ インストール処理中にバリデーションコードを入力する必要はありません。

Quark Publishing Platform用Quark XML Authorのインストール

Quark XML Authorのインストールについては、『Quark XML Author for Quark Publishing Platform **ReadMe**』を参照してください。

QPS XTensionsソフトウェアの手動でのインストール

QPS Connect Clientインストーラを実行する前に、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskをクライアントコンピュータにインストールしておく必要があります。QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのReadMeファイルの手順に従います。アプリケーションを起動してインストールが成功したことを確認し、アプリケーションを終了します。

QPS Connect Clientインストーラは、コンピュータ上の互換性のあるQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを検索し、QPS XTensionsソフトウェアを各プログラムのアプリケーションフォルダにインストールします。

➡ また、QPS Connect Clientインストーラは、QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskのDejavu XT XTensionsソフトウェアを無効にします。Dejavu XT XTensionsソフトウェアによって、**開く**サブメニュー（**ファイル**メニュー）に最近使用したファイルが一覧表示されますが、これによりQPS環境のパフォーマンスが低下する可能性があります。

QPS Connect ClientインストーラがQuarkXPressおよびQuarkCopyDeskの場所を特定できない場合、XTensionsソフトウェアを"QPS Client"フォルダのルートレベルにコ

QUARK PUBLISHING PLATFORMソフトウェアのインストール

ピーします。この場合、下記の手順を使用してQPS XTensionsソフトウェアをインストールします。

Mac OS

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアを手動インストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。
- 2 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 4 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 5 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkCopyDesk"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"QPPLog"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPLog"フォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに追加します。
- 7 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 8 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 9 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 10 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 11 "Quark Publishing Platform Client"フォルダのルートレベルにある"For QuarkXPress"フォルダ下の"App"フォルダを開き、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"QPPLog"フォルダのファイルを置き換えます。新規インストールの場合は、"QPPLog"フォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダに追加します。

Windows

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアを手動インストールするには、以下の手順に従います。

- 1 QuarkXPressおよびQuarkCopyDeskを終了します。

- 2 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 3 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 4 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 5 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 6 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkCopyDesk"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにコピーします。
- 7 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 8 QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダに"QuarkCopyDesk.exe.config"という名前のファイルがあるかどうか確認します。
 - ファイルが存在しない場合は、"For QuarkCopyDesk"フォルダから"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルをアプリケーションフォルダにコピーします。
 - ファイルが存在する場合は、（QuarkCopyDeskアプリケーションフォルダの）"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルと（"For QuarkCopyDesk"フォルダの）"QuarkCopyDesk.exe.config"ファイルを、テキストエディタで開きます。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルに<system.web>、<system.net>、および<appSettings>の各要素が含まれている場合、"For QuarkCopyDesk"側のファイルから、同じ名前の要素の内容を各要素に追加します。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルにこれらの要素がない場合は、"For QuarkCopyDesk"フォルダ側のファイルから各要素をコピーして、そのファイルの<Configuration>要素にペーストします。
- 9 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"XTensions"フォルダを開き、XTensionsソフトウェアファイルをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダにコピーします。
- 10 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Help"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Help"フォルダにコピーします。
- 11 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Documents"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Documents"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。
- 12 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"の"Symbols"フォルダを開き、コンテンツをQuarkXPressアプリケーションフォルダの"Symbols"フォルダ内の対応するフォルダにコピーします。

- 13 "QPS Client"フォルダのルートレベルの"For QuarkXPress"フォルダにある残りのファイルとフォルダをすべてQuarkXPressアプリケーションフォルダにコピーします。
- 14 Dejavu XT XTensionsソフトウェアファイルを、QuarkXPressアプリケーションフォルダの"XTensions"フォルダから"XTensions Disabled"フォルダに移動します。
- 15 QuarkXPressアプリケーションフォルダに"QuarkXPress.exe.config"という名前のファイルがあるかどうか確認します。
 - ファイルが存在しない場合は、"For QuarkXPress"フォルダから"QuarkXPress.exe.config"ファイルをアプリケーションフォルダにコピーします。
 - ファイルが存在する場合は、（QuarkXPressアプリケーションフォルダの）"QuarkXPress.exe.config"ファイルと（"For QuarkXPress"フォルダの）"QuarkXPress.exe.config"ファイルを、テキストエディタで開きます。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルに<system.web>、<system.net>、および<appSettings>の各要素が含まれている場合、"For QuarkXPress"側のファイルから、同じ名前の要素の内容を各要素に追加します。
 - アプリケーションフォルダ側のファイルにこれらの要素がない場合は、"For QuarkXPress"フォルダ側のファイルから各要素をコピーして、そのファイルの<Configuration>要素にペーストします。

インストール後に変更を行うには

- ➡ QPS Server内で実行されているQuarkXPress Server Managerにアクセスするには、QuarkXPress Server Managerクライアントを起動して、QPS Serverにログオンします。

QuarkXPress Serverロケールの識別

日付や数字の書式などのロケール設定の一貫性を保つために、QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定がQPS Serverで認識される必要があります。QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定によって、日付、時間、および数字の書式が決まります。

QPS ServerのQuarkXPress Serverコンピュータのロケールを設定するには、下記の手順に従ってください。

- 1 QPS Serverアプリケーションフォルダ内の"conf"フォルダを開きます。
- 2 "ServerApp.properties"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 "qxps.locale=" エントリーまでスクロールします。
- 4 QuarkXPress Serverコンピュータのロケール設定を入力します。英語の場合はen、フランス語の場合はfr、ドイツ語の場合はdeを入力します。
- 5 "ServerApp.properties"を保存して閉じます。

QPS ServerへのRAMの割り当て

JVMに割り当てられるメモリの量を変更することができます。Mac OSまたはWindowsでは、空きメモリ量の50パーセント以下にすることをお勧めします。また、Windowsでは32ビットコンピュータで割り当て量を1536MB以下にしてください。

Mac OS

Mac OSでQPS Serverに割り当てられるメモリ量を調整するには、下記の手順に従います。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 "QPS Server"アプリケーションフォルダで"ServerStartup.command"を探し、テキスト編集アプリケーションで開きます。
- 3 「java -server -Xmx512m -classpath」を探します。「512M」は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 4 使用可能なメモリの50パーセントまでの範囲で値を調整します。
- 5 "ServerStartup.command"を保存して閉じ、QPS Serverを再起動します。

Windows

Windowsでは、QPS Serverの起動方法に応じて、メモリ割り当てを異なる場所に指定できます。

- 1 QPS Serverを停止します。
- 2 QPS Server起動時にQPS Server ConsoleまたはQPS Server Windowsサービスを使用する場合は、"wrapper.conf"ファイルを開きます。
- 3 "wrapper.java.maxmemory"プロパティを探します。
- 4 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- ➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。
- 5 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。
- 6 "Serverstartup.bat"を使用する場合は、以下の手順に従ってください。
- 7 QPS Serverを停止します。
- 8 "ServerStartup.bat"をテキスト編集アプリケーションで開きます。
- 9 "java -server -Xmx512m -classpath"を探します。"512M"は、512MBのRAMがQPS Serverに割り当てられることを示しています。
- 10 値を調整します。設定できる値は最大1536で、使用可能なメモリの50パーセントを超えることはできません。
- ➡ 32ビットコンピュータでは1536を超えることはできません。QPSは64ビットコンピュータをサポートしていますが、この場合メモリは最大3072です。

11 変更を保存し、QPS Serverを再起動します。

Quark Publishing Platformソフトウェアの更新

QPS Server 9.2または9.5から、Quark Publishing Platform 9.5.1に更新することができます。QPSクライアント9.0以降から、Quark Publishing Platform 9.5.1に更新することができます。以前のバージョンの場合は、既存のバージョンをアンインストールしてからQuark Publishing Platform 9.5.1をインストールする必要があります。

Quark Publishing Platform 9.5.1に更新する場合は、QPS Serverを更新する前にすべてのアセットをチェックインしてください。Quark Publishing Platform File Serverを保持できます。各QuarkXPressプロジェクトおよびQuarkCopyDeskアークティクルは、アセットをチェックアウトしてチェックインし直したときにQuark Publishing Platform 9.5.1フォーマットに変換されます。

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA) で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

Quark Publishing Platform 9.5.1に更新する前に、Quark Publishing Platform 9.0以降のすべてのサーバーコンポーネントおよびクライアントコンポーネントをインストールする必要があります。QuarkCopyDeskおよびQuarkXPressを更新する手順については、それぞれのReadMeファイルを参照してください。

Quark Publishing Platform Serverの更新 (Mac OS)

➡ Quark Publishing Platformのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、Quark Publishing Platform Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

Quark Publishing Platform Server 9.2または9.5を更新するには、下記の手順に従ってください。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、Quark Publishing Platform Serverを再起動してから再度Quark Publishing Platform Serverを停止します。
- 2 Quark Publishing Platform Server ConsoleとQuark Publishing Platform Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャ

QUARK PUBLISHING PLATFORMソフトウェアの更新

セットファイル、FTS Indexファイル、配信フォルダおよびログファイルのコピーがあることを確認してください。

ジョブジャケットファイルおよびスクリプトファイルをデフォルトの場所に保存していない場合は、これらのファイルをQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダ内の次のデフォルトの場所にコピーします。

- ジョブジャケットファイルを[Quark Publishing Platform Server installation folder]/Jobjacketsにコピーします。
- スクリプトファイルを[Quark Publishing Platform Server installation folder]/scriptsにコピーします。

➡ これらの2つの手順は、QPS 9.2からQPP 9.5.1への更新時のみが対象です。これらの手順は、QPP Server 9.5からQPP Server 9.5.1への更新時は必要ありません。

4 QPP Server Updaterをダブルクリックします。

認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。

5 Continue (続ける) をクリックします。

6 プロセスが完了したら終了をクリックします。

7 Quark Publishing Platform Serverを開始します。

➡ アップデータでは、既存の配信フォルダのバックアップは作成されません。新しい配信フォルダと新しいconfigファイルが作成されます。アップデータを実行する前に独自にバックアップを作成して、デフォルトのパブリッシングのconfigファイルに対して行った変更と、作成された新しいパブリッシングのconfigファイルを結合する必要があります。

Quark Publishing Platform Serverの更新 (Windows)

➡ Quark Publishing Platformのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデータにより、Quark Publishing Platform Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

➡ Quark Publishing Platform 9.0のインストール時にMicrosoft SQL ServerまたはOracleを選択した場合は、データベースを更新するためにQuark Publishing Platform Database 更新プログラムを実行する必要があります。詳細は、「[QPS Databaseのアップグレード](#)」を参照してください。

Quark Publishing Platform Serverを更新するには、下記の手順に従ってください。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、Quark Publishing Platform Serverを再起動してから再度Quark Publishing Platform Serverを停止します。
- 2 Quark Publishing Platform Server Consoleを終了します。
- 3 現在のQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャ

セットファイル、FTS Indexファイル、配信フォルダおよびログファイルのコピーがあることを確認してください。

ジョブジャケットファイルおよびスクリプトファイルをデフォルトの場所に保存していない場合は、これらのファイルをQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダ内の次のデフォルトの場所にコピーします。

- ジョブジャケットファイルを[Quark Publishing Platform Server installation folder]/Jobjacketsにコピーします。
- スクリプトファイルを[Quark Publishing Platform Server installation folder]/scriptsにコピーします。

➡ これらの2つの手順は、QPS 9.2からQPP 9.5.1への更新時のみが対象です。これらの手順は、QPP Server 9.5からQPP Server 9.5.1への更新時は必要ありません。

4 "Quark Publishing Platform Server.exe"ファイルをダブルクリックして**QPP Serverのインストール**を選択するか、Quark Publishing Platform Serverフォルダにある"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQuark Publishing Platformインストールを検出して更新モードに切り替わります。

5 次へをクリックします。

6 画面の指示に従います。

7 プロセスが完了したら**完了**をクリックします。

8 Quark Publishing Platform Serverを開始します。

➡ アップデータでは、既存の配信フォルダのバックアップは作成されません。新しい配信フォルダと新しいconfigファイルが作成されます。アップデータを実行する前に独自にバックアップを作成して、デフォルトのパブリッシングのconfigファイルに対して行った変更と、作成された新しいパブリッシングのconfigファイルを結合する必要があります。

QPS Clientの更新 (Mac OS)

Mac OS上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデータファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。

2 "QPS Client Updater.app"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QPS Clientの更新 (Windows)

Windows上でQPS Connect Clientを更新するには、下記の手順を実行します。更新プロセスには、QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用のQPS XTensionsソフトウェアの置き換えが含まれます。

QUARK PUBLISHING PLATFORMソフトウェアの更新

- 1 ウィルス防御ソフトウェアをすべて無効にします。コンピュータへのウィルス感染が心配な場合は、アップデートファイルにウィルスチェックを実行してから、ウィルス検出ソフトウェアを無効にして更新を行ってください。
- 2 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsの更新

QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsを更新するには、次の手順に従ってください。

- 1 Windowsで、Windowsのアンインストーラを使用して既存のQuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアをアンインストールします。
- 2 Windowsでは、Windowsのアンインストーラを使用して、QuarkXPress Serverの既存のインスタンスをアンインストールします。Mac OSでは、既存のQuarkXPress Serverアプリケーションフォルダをごみ箱にドラッグします。
- 3 QuarkXPress Server 9.5をインストールします。詳細は、『QuarkXPress Server ReadMe』を参照してください。
- 4 「[Quark Publishing Platform Serverの更新 \(Mac OS\)](#)」または「[Quark Publishing Platform Serverのアップグレード \(Windows\)](#)」の説明に従って、Quark Publishing Platform Serverを更新します。
- 5 QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform Server XTensionsソフトウェアをインストールするには、"QuarkXPress Server XTensions"フォルダのアンインストーラを実行します。

Quark Publishing Platform 9.5.1 へのアップグレード

QuarkソフトウェアをQuark License Administrator (QLA) で管理している場合は、アップグレードの前にライセンスをチェックインしてください。

新しいバージョンのQuarkCopyDeskまたはQuarkXPressをインストールするには、それぞれの**ReadMe**ファイルを参照してください。

- ➔ Quark Publishing Platform Client用のアップグレードプログラムはありません。アップグレードするには、「[QPS Connect Clientのインストール](#)」の説明に従って新しいバージョンをインストールするだけです。

QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsのアップグレード

QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsをアップグレードするには、次の手順に従ってください。

- 1 Windowsで、Windowsのアンインストーラを使用して既存のQuarkXPress Server用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアをアンインストールします。
- 2 Windowsでは、Windowsのアンインストーラを使用して、QuarkXPress Serverの既存のインスタンスをアンインストールします。Mac OSでは、既存のQuarkXPress Serverアプリケーションフォルダをごみ箱にドラッグします。
- 3 QuarkXPress Server 9.5.1をインストールします。詳細は、『QuarkXPress Server ReadMe』を参照してください。
- 4 「Quark Publishing Platform Serverのアップグレード (Mac OS)」または「Quark Publishing Platform Serverのアップグレード (Windows)」の説明に従って、Quark Publishing Platform Serverをアップグレードします。
- 5 QuarkXPress Server用Quark Publishing Platform Server XTensionsソフトウェアをインストールするには、「QuarkXPress Server XTensions」フォルダのアンインストーラを実行します。

Quark Publishing Platform Serverのアップグレード (Mac OS)

- ➔ Quark Publishing Platformのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデートにより、Quark Publishing Platform Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースが更新されます。

QUARK PUBLISHING PLATFORM 9.5.1へのアップグレード

Quark Publishing Platform Serverをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、Quark Publishing Platform Serverを再起動してから再度Quark Publishing Platform Serverを停止します。
- 2 Quark Publishing Platform Server ConsoleとQuark Publishing Platform Server StatusMenuを終了します。
- 3 現在のQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。

ジョブジャケットファイルおよびスクリプトファイルをデフォルトの場所に保存していない場合は、これらのファイルをQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダ内の次のデフォルトの場所にコピーします。

- ジョブジャケットファイルを[[Quark Publishing Platform Server installation folder](#)]/Jobjacketsにコピーします。
- スクリプトファイルを[[Quark Publishing Platform Server installation folder](#)]/scriptsにコピーします。

➡ これらの2つの手順は、QPS 9.2からQPP 9.5.1への更新時のみが対象です。これらの手順は、QPP Server 9.5からQPP Server 9.5.1への更新時は必要ありません。

- 4 **QPP Server Updater**をダブルクリックします。**認証**画面が表示されます。名前とパスワードを入力します。
- 5 バリデーションコードを入力します。
- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 このコンピュータに複数のQuark Publishing Platform Serverがインストールされている場合は、**選択**をクリックして、アップグレードの対象を選択します。該当しない場合は、**続ける**をクリックします。
- 8 プロセスが完了したら**終了**をクリックします。
- 9 Quark Publishing Platform Serverを開始します。

Quark Publishing Platform Server のアップグレード (Windows)

- ➡ Quark Publishing Platformのインストール時にHSQL DBをインストールした場合は、アップデータにより、Quark Publishing Platform Serverの更新処理中に自動的にHSQL DB データベースがアップグレードされます。
- ➡ Quark Publishing Platformのインストール時にMicrosoft SQL ServerまたはOracleをインストールした場合は、データベースをアップグレードするためにQuark Publishing Platform Databaseアップグレードプログラムを実行する必要があります。詳細は、「[Quark Publishing Platform データベースのアップグレード \(Windows\) : MS SQL ServerまたはOracle](#)」を参照してください。

Quark Publishing Platform Serverを更新するには、下記の手順に従ってください。

- 1 アップグレードする前に、インストールされたHSQL DBが一貫性を確保しており、ユーザーが利用できることを保証するために、Quark Publishing Platform Serverを再起動してから再度Quark Publishing Platform Serverを停止します。
- 2 Quark Publishing Platform Server Consoleを終了します。
- 3 現在のQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダのバックアップを作成します。具体的には、"conf"フォルダ、スクリプト、データベース、Quarkジョブジャケットファイル、FTS Indexファイル、およびログファイルのコピーがあることを確認してください。

ジョブジャケットファイルおよびスクリプトファイルをデフォルトの場所に保存していない場合は、これらのファイルをQuark Publishing Platform Serverインストールフォルダ内の次のデフォルトの場所にコピーします。

- ジョブジャケットファイルを[Quark Publishing Platform Server installation folder]/Jobjacketsにコピーします。
- スクリプトファイルを[Quark Publishing Platform Server installation folder]/scriptsにコピーします。

➡ これらの2つの手順は、QPS 9.2からQPP 9.5.1への更新時のみが対象です。これらの手順は、QPP Server 9.5からQPP Server 9.5.1への更新時は必要ありません。

- 4 "setup.exe"ファイルをダブルクリックして**QPP Serverのインストール**を選択するか、Quark Publishing Platform Serverフォルダにある"Setup.exe"ファイルをダブルクリックします。インストーラは自動的にQuark Publishing Platformインストールを検出してアップグレードモードに切り替わります。
- 5 バリデーションコードを入力します。
- 6 **次へ**をクリックします。
- 7 画面の指示に従います。
- 8 プロセスが完了したら**完了**をクリックします。
- 9 Quark Publishing Platform Serverを開始します。

QPS Databaseのアップグレード

以下のトピックでは、QPS Databaseをアップグレードする方法について説明します。

➡ QPS Databaseは、Windows上で動作するMS SQL Server、Windows上またはLinux上で動作するOracleを使用する場合のみアップグレードする必要があります。HSQL QPS Databaseは、QPS Serverのアップグレードプログラムを実行するとアップグレードされます。

Quark Publishing Platform データベースのアップグレード : HSQL

Quark Publishing Platformを新しいコンピュータにインストールする場合で、既存のHSQLデータベースをそのコンピュータに移行する場合は、下記の手動での手順を実行します。

- 1 Quark Publishing Platform Serverをシャットダウンします。
 - 2 現行のコンピュータで、`database/hsqldb`ディレクトリのコピーを作成します。
 - 3 同じコンピュータにQuark Publishing Platformリポジトリを持つディレクトリがある場合、そのディレクトリのコピーを作成します。
 - 4 Quark Publishing Platformの新規インスタンスをインストールするコンピュータで、必要に応じてPlatform Serverをシャットダウンします。
 - 5 新しいコンピュータの`database/hsqldb`ディレクトリを手順2で作成したコピーに置換えます。
 - 6 Quark Publishing Platformリポジトリを持つディレクトリを新しいコンピュータに移行する場合は、そのディレクトリを新しいコンピュータにコピーします。
 - 7 コマンドラインウィンドウで、`database/hsqldb/update`ディレクトリに移動します。
 - 8 以下のコマンドを入力します。HSQLDbSchemaUpdater.bat ../[ジョブジャケットフォルダのパス][スクリプトフォルダのパス]
- ➡ QPP 9.5からQPP 9.5.1に更新する場合、ジョブジャケットとスクリプトのフォルダは空のフォルダになります。
- 9 データベースが更新されたことを示すメッセージが表示されるのを確認します。
 - 10 新しいコンピュータでQuark Publishing Platform Serverを開始します。
 - 11 新しいコンピュータでQuark Publishing Platformリポジトリディレクトリへのパスが異なる場合は、Quark Publishing Platform Admin Web クライアントを使用してリポジトリのURLを更新します。

Quark Publishing Platform データベースのアップグレード (Windows) : MS SQL ServerまたはOracle

Windows上で動作するMS SQL ServerまたはOracleをQuark Publishing Platform データベースとして使用している場合は、下記の手動での手順を実行します。

- 1 Quark Publishing Platform Serverをシャットダウンします。
- 2 データベースをインストールしたコンピュータ上で、`Upgrader/QPP Server/Database`ディレクトリに移動します。
- 3 "Update.exe"ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。
- 4 ドロップダウンメニューから**Oracle/SQL**を選択します。
- 5 画面の指示に従います。
- 6 現行のQuark Publishing Platformシステムで使用されているジョブジャケットファイルのパスを指定します。デフォルトでは、ジョブジャケットファイルはQuark Publishing Platform Serverアプリケーションフォルダにあります。

- 7 現行のQuark Publishing Platformシステム内のスクリプトのパスを指定します。デフォルトでは、スクリプトはC:¥Program Files (x86)¥Quark¥Quark Publishing Platform¥Server¥Scriptsにあります。

➡ QPP 9.5からQPP 9.5.1に更新する場合、ジョブジャケットとスクリプトのフォルダは空のフォルダになります。QPP 9.5のサーバーの基本システムがある場合、QPP Serverのシステムにはジョブジャケットとスクリプト用のフォルダはありません。データベースの更新時に、データベース更新プログラムでこれらのフォルダが必要となるため、データベースの更新用に空白のフォルダが用意されます。

Quark Publishing Platform データベースのアップグレード (Linux) : Oracle

Linux上で動作するOracleをQuark Publishing Platformデータベースとして使用している場合にQuark Publishing Platformデータベースをアップグレードするには、下記の手動での手順を実行します。

- 1 Quark Publishing Platform Serverをシャットダウンします。
- 2 Upgrader/QPP Server/Database/Oracleディレクトリに移動します。
- 3 "Update"フォルダを、Oracleをインストールしたコンピュータのローカルのハードドライブにコピーします。このフォルダにはデータベース更新スクリプトが含まれます。
- 4 コマンドプロンプトを表示して、ローカルのハードドライブの"Update"フォルダに移動します。
- 5 "Update.sh"スクリプトを実行するには、`sh Update.sh`と入力して以下の引数を指定します。
 - `SysPwd` : データベースのSYSユーザーのパスワード
 - `QPPUser` : Quark Publishing Platformスキーマの名前
 - `QPPPwd` : Quark Publishing Platformスキーマのパスワード
 - `ServiceName` : Oracleサービス名
 - `JobJacketsPath` : デフォルトジョブジャケットファイルへのパス
 - `Scripts` : カスタムスクリプトのあるディレクトリへのパス

➡ QPP 9.5からQPP 9.5.1に更新する場合、ジョブジャケットとスクリプトのフォルダは空のフォルダになります。

QPS XDKのドキュメント

QPS ServerおよびQPS Connect Client用のXDKのドキュメントは、QPSのアプリケーションフォルダの"Documentation"フォルダにあります。QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用QPS XTensionsソフトウェアのXDKのドキュメントは、qdr.quark.comから入手できます。

QPS Serverの起動

Mac OSとWindowsでは、QPS Serverの起動方法が異なります。Mac OSでは、QPS Serverのインストールが完了すると、**QPS Server Console**が表示され、**QPS Serverを起動**をクリックできます。また、QPS Serverをサービスとしてインストールするか、**マシンが再起動したときに自動的に起動**をオンにすると、QPS Serverコンピュータを再起動したときにQPS Serverが自動的に起動します。

Mac OS

Mac OSでQPS Serverを起動するには、以下の手順に従います。

- 1 アップルメニューで**システム環境設定**を選択します。
システム環境設定ウィンドウが表示されます。
- 2 システム環境設定ウィンドウの下部にある**その他**の下の**QPS Server**をクリックします。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 3 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

Windows

- ➡ ユーザーアカウント制御を有効にしたWindows Server 2008 R2にQPSをインストールした場合、管理者として下記の操作を行う必要があります。

WindowsでQPS Serverを起動するには、下記の手順に従ってください。

- 1 スタート > **すべてのプログラム** > **QPS Server** > **QPS Server Console**を選択します。
QPS Server Consoleが表示されます。
- 2 QPS Serverを**起動**をクリックします。
サーバーの状況フィールドに**起動中**と表示された後、**稼動中**と表示されます。

QXP Serverの再起動の自動化

QuarkXPress Serverをインストールしたら、以下のパラメータを指定して、サブレンダラーの監視機能を有効にしてQuarkXPress Serverが起動されるようにします。QuarkXPress Serverのマスタープロセスは、サブレンダラーのプロセスを監視し、必要に応じてサブレンダラーを再起動します。監視の間隔を指定するには"-queryinterval"パ

QPS SERVERの起動

ラメータを使用し、再試行の回数を指定するには"-noofreties"パラメータを使用します。

- 1 テキスト編集アプリケーションを使用して、[QuarkXPress Serverアプリケーションフォルダ]/conf/ServerApp.propertiesファイルを開きます。
- 2 `qxpservercore.monitorrenderers.value=true`と設定します。
- 3 `qxpservercore.monitorrenderers.queryinterval.value=60`と設定します。
- 4 `qxpservercore.monitorrenderers.noofreties.value=3`と設定します。

アンインストール

QPS Serverのアンインストール

Mac OS

Quark Publishing Platform Serverをアンインストールするには、まずQuark Publishing Platform Serverをシャットダウンし、Quark Publishing Platform Server ConsoleおよびQuark Publishing Platform Serverの状況メニューを終了します。次に、Quark Publishing Platform Serverのアプリケーションフォルダを開いて**Quark Publishing Platform Server Uninstaller**をダブルクリックし、画面の指示に従います。

Windows

Quark Publishing Platform Serverをアンインストールするには、次の手順に従ってください。

- 1 Quark Publishing Platform Server を停止し、Quark Publishing Platform Server Consoleを終了します。
- 2 **スタート > すべてのプログラム > Quark Publishing Platform Server > Quark Publishing Platform Serverのアンインストール**を選択します。
- 3 **はい**をクリックします。アンインストール処理に必要な情報がアンインストーラによって収集されます。
- 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。

➡ アンインストーラは自動的に終了し、メッセージは表示されません。

➡ Quark Publishing Platform Serverソフトウェアの削除は、**コントロールパネル > プログラムの追加と削除**から行うこともできます。

QPS Connect ClientおよびQPS XTensionsソフトウェアのアンインストール

Mac OS

Quark Publishing Platform Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

アンインストール

- 1 ハードドライブの"Applications"フォルダ（またはQuark Publishing Platform Connect Clientアプリケーションをインストールしたフォルダ）を開き、"Quark Publishing Platform Client"フォルダをごみ箱にドラッグします。
- 2 QPPLogフォルダをQuarkXPressアプリケーションフォルダから削除します。
- 3 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkXPressアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
 - Notes.xnt
 - NotesUI.xnt
 - QCDImportFilter.xnt
 - QPP XT.xnt
 - QPPDataProvider.xnt
 - QPPPlaceholdersXT.xnt
 - RedlineXT.xnt
 - RedlineU.xnt
- 4 QPPLogフォルダをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダから削除します。
- 5 下記のXTensionsソフトウェアモジュールをQuarkCopyDeskアプリケーションフォルダにある"XTensions"フォルダから削除します。
 - QPP XT.xnt
 - QPPPlaceholdersXT.xnt

Windows

Quark Publishing Platform Clientアプリケーションをアンインストールするには、下記の手順に従ってください。

- 1 Quark Publishing Platform Clientを終了します。
 - 2 **スタート > すべてのプログラム > Quark Publishing Platform Client > Quark Publishing Platform Clientのアンインストール**を選択します。
 - 3 **はい**をクリックします。アンインストーラがアンインストールに必要な情報を収集し、Quark Publishing Platform Clientアプリケーションフォルダの内容が削除されることを示す警告が表示されます。
 - 4 **はい**をクリックして続行するか、**いいえ**をクリックしてキャンセルします。
- ➡ Quark Publishing Platform Connect Clientインストーラを使用してQuarkCopyDeskおよびQuarkXPress用Quark Publishing Platform XTensionsソフトウェアをインストールしていた場合は、Quark Publishing Platform Clientアンインストーラは、これらのXTensionsソフトウェアモジュールも削除します。

Quark Publishing Platform用Quark XML Authorのアンインストール

Quark XML Authorのアンインストールについては、『Quark XML Author for Quark Publishing Platform **ReadMe**』を参照してください。

このバージョンにおける変更点

Quark Publishing System (QPS) は、Quark Publishing Platformに生まれ変わりました。従来のパブリッシングにも対応し、高度に自動化されたXMLベースのパブリッシングを可能にする非常に強力なパブリッシングツールとなりました。Quark Publishing Platformでは、QuarkXPressとQuarkCopyDeskに加えてQuark XML Authorも使用できるようになり、ナレッジワーカーは使い慣れたMicrosoft Wordユーザーインターフェイスから構造化コンテンツを作成できます。

エンドツーエンドのパブリッシングワークフローとして導入する場合でも、既存のインフラストラクチャとともに個別に統合する場合でも、Quark Publishing Platformの各モジュールで次のことが可能になります。

- 印刷物、PDF、HTML5、ウェブ、XML、タブレット端末やモバイル用のアプリ、その他のデジタル形式向けに、コンテンツを自動的に集版して配信。
- Microsoft Wordでのオーサリング作業時にコンテンツやインタラクティブメディアをリアルタイムでプレビューできることによって、サイクルタイムを削減。
- 使い慣れたレイアウトツールやオーサリングツールを使用した、自動化に適したデザイン。
- IBM FileNet Content Manager、Microsoft SharePoint、EMC Documentumなどの、シンジケーションサービスやコンテンツ管理システムと簡単に統合。
- サードパーティシステムからのXMLや構造化コンテンツを再利用。

➡ 最終的な変更点については、Quarkのウェブサイトで、この製品の[サポート > 製品資料](#)のページを参照してください。

新機能

バージョン9.5.1には、下記の変更点があります。

機能強化

下記の2種類のコンテンツタイプが追加されました。

- App Studioパッケージ
- Quark AVEパッケージ

➡ これらの新しいコンテンツタイプに対するサーバーサイドの索引付けには、サムネール / プレビューと、App Studioパッケージのフルテキスト検索のサポートが含まれます。

配信チャンネルの変更点

App Studioパッケージをサポートする、下記の2種類の新しい配信チャンネルが追加されました。

- QuarkXPressプロジェクトをApp Studioパッケージとして発行
- ビジネスドキュメントをApp Studioパッケージとして発行

checkintoplatformチャンネルが強化され、下記の入力をサポートしました。

- ファイル - ファイルをアセットととしてチェックイン
- フォルダ - フォルダ構造を使用してコレクション構造を作成し、すべてのファイルに対応するコレクションでチェックイン
- アーカイブ - zipファイルを入力として解凍し、フォルダモードで使用

BusDocQXPCheckinチャンネルが強化され、下記の機能をサポートしました。

- App Studioのインタラクティブ機能を使用したQuarkXPressプロジェクトの作成。
- 参照を入力として使用したQuarkXPressテンプレート。チェックインしたQuarkXPressプロジェクトは、QuarkXPressテンプレートによって参照されているアセットを参照をします。
- このチャンネルに対するApp Studioのデフォルトのマッピングは、[QuarkXPress Template and XSL](#)です。必要に応じて、デフォルトのマッピングをPrintに変更できます。

Send to Documentum配信チャンネルが追加されました。

すべてのサンプル配信チャンネルのユーザーインターフェイスが強化され、配信チャンネルのオプションの前に、パブリッシングのオプションが表示されるようになりました。この結果、アセットを配信システムに送る前に、他の形式で発行できるようになります。

Send to SharePoint、Documentum、Filenetの各配信チャンネルが強化され、下記の機能をサポートしました。

- アセットとともにプラットフォームの属性を送信。

発行のAPIインターフェイスが強化され、qpp:assets/assetidやfile:C:/temp/filename.xmlのようなURLからの発行をサポートしました。

修飾子に関連するパブリッシングのアクティビティに対してロギングを可能にする機能が追加されました。

RESTインターフェイス

すべてのRESTの呼び出しで、要求の一部としてUser Name / Passwordやsessionkeyの送信をサポートしました。

REST APIが下記の機能に対して追加されました。

- ロールの取得
- アーカイブと復元

このバージョンにおける変更点

クライアントの機能強化（ウェブ、Mac、Windowsのクライアントが対象）

App Studio アーティクルへの発行のUIに対する機能強化

- **Article Name**が**Article Title**に改名されました。
- **Article Source**がオプションのフィールドとして追加されました。
- 組織、出版物、コンテンツがドロップダウンの値になりました。
- QuarkXPress Serverで設定されたユーザー資格情報ではなく、別のユーザー資格情報をApp Studioで使用できるようになりました。

リビジョンの表示を使用して、任意のバージョンのアセットのプレビューを参照できるようになりました。複数のバージョンのプレビューを同時に開けるようになりました。

QuarkXPressプロジェクトとビジネスドキュメントに、**Publish to App Studio Package** オプションが追加されました。

Web Clientの機能強化

検索結果の共有と複製の機能が追加されました。

検索結果をXML、HTML、カンマ区切り（csv）、タブ区切りテキスト（txt）として書き出せる機能が追加されました。

検索結果で**グループ化の条件**のサポートが追加されました。

アセットのアーカイブと復元のサポートが追加されました。

➡ 検索、コレクション、アセットからアーカイブを実行できます。

• Web Clientの機能拡張

下記の動作に対してURLパラメータが追加されました。

- トップバナーを隠す。
- 左側のナビゲーションを隠す。
- 割り当てではなく、コレクションまたは検索に直接移動する。

デスクトップクライアント - WindowsおよびMac

コレクションレベルで下記の新しいアクションが追加されました。

- フォルダをチェックイン。フォルダとすべてのサブフォルダをチェックインできません。
- コレクションの取り込み。コレクション、サブコレクション、すべての関連するアセットを、1つのアクションで取り込みます。

QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk用Quark Publishing Platform XTensions

App Studioのインタラクティブ機能の統合が追加されました。すべてのアセットを**HTML5パレット**のUIでPlatformから取り込めるようになりました。

QuarkCopyDeskのユーザー環境設定として、ジオメトリを更新せずにアーティクルのページ画像のみを更新する設定が追加されました。

QuarkCopyDeskのユーザー環境設定として、アーティクルのページ画像オプションの設定が追加されました。

バージョン9.5.1で追加された新機能の詳細については、サポートサイト (support.quark.com/Documentation/Publishing_Platform/) で最新のドキュメントを入手できます。

また、Quark Publishing PlatformをダウンロードしたFTPサーバーでQuark Publishing Platformのドキュメントを入手することもできます。FTPサーバーは qallianceftp.quark.comで、パスはDistribution/Quark Software/Quark Publishing Platform/Latest/Platform [version]/Documentationです。

バージョン9.5の新機能

バージョン9.5には、下記の変更点があります。

- Quark Publishing Platform Serverは、Oracle 11g R2およびSQL Server 2012データベースに対応しました。
- Quark Publishing Platformでは、独自のコンテンツタイプを作成できるようになりました。
- 管理インターフェイスは、クライアントアプリケーションからWeb UIに移行しました。
- Tomcat 7.0.29を採用し、IBM WebSphereおよびOracle WebLogicへのデプロイが可能になりました。
- シングルサインオン (SSO) に対応しました。
- リンクの内容は関係の概念へと拡張されました。
- QuarkXPressのHTML5パレットが統合されました。
- Quark Publishing Platform Web Clientで変更履歴を使用できるようになりました。
- Quark Publishing Platform Web Clientのチェックアウトプロジェクトにリンクされたアーティクルをチェックアウトできるようになりました。
- HTML5 App Studioにすべてのクライアントからコンテンツをエクスポートできるようになりました。
- XML Authorでコンテンツを作成し、Microsoft Word上からQuarkXPressテンプレートでのコンテンツ表示をプレビューできるようになりました。
- ユーザーインターフェイスにおける"QPS"の表示は"Platform"に変わりました
- メジャーバージョン番号およびマイナーバージョン番号をアセットのリビジョンに割り当てられるようになりました。
- RESTベースのインターフェイスがクライアントに導入されました。クライアントからサーバーにhttp要求を行い、対応するレスポンスを処理できるようになりました。

➡ 変更内容の詳細については、『**A Guide to Quark Publishing Platform**』を参照してください。

既知および解決済みの問題

このバージョンのソフトウェアに存在する既知の問題および解決済みの問題の一覧については、QuarkのWebサイト (www.quark.comまたはeuro.quark.com) にアクセスしてください。

Quarkへの連絡

このソフトウェアのインストール、設定、または使用方法についてのご質問は、Quarkにお問い合わせください。

南北アメリカ

企業向け製品（QPSおよびQuarkXPress Server）のテクニカルサポートについては、800.788.0045（月～金、午前7：00～午後6:00、米国山岳時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはenterprisesupport@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

デスクトップ製品（QuarkXPressおよびQuarkCopyDesk）のテクニカルサポートについては、800.676.4575（月～金、午前7：00～午後5:00、アメリカ山岳部時間）までお電話でお問い合わせいただくか、またはtechsupp@quark.com宛てに電子メールでご連絡ください。

製品情報については、Quarkウェブサイトwww.quark.comをご覧ください。または、cservice@quark.com宛てに電子メールでお問い合わせください。

南北アメリカ以外の国々

英語のテクニカルサポートの電話での受付時間は、中央ヨーロッパ時間の月～金、8:30～17:30です。電子メールでのお問い合わせの宛先は、enterprisesupport@quark.comです。

オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、およびイギリスでは、電話で00800 1787 8275に問い合わせてください。南北アメリカ以外のその他すべての国では、以下の番号にお問い合わせください。

- ベルギー：0800.77.296
- フランス：0800.91.3457
- ドイツ：0800.180.0101
- アイルランド：1800.55.0241
- イタリア：800.87.4591
- 日本：00531.13.1492
- ルクセンブルグ：8002.3861
- ノルウェー：800.1.4398

QUARKへの連絡

- スペイン : 900.941.328
- スウェーデン : 020.790.091
- スイス : 0800.55.7440
- イギリス : 0808.101.7082

製品情報については、Quarkウェブサイト euro.quark.com をご覧ください。または、eurocservice@quark.com 宛てに電子メールでお問い合わせください。

オーストラリア

テクニカルサポートについては、1 800.670.973（月～金、午前10:00～午後7:00、シドニー時間（AEST））にお電話でお問い合わせいただくか、または austechsupp@quark.com 宛てに電子メールでご連絡ください。

法律上の注記

©2013 Quark Software Inc. and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許によって保護されています。5,541,991、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666 B2、6,947,959 B1、6,940,518 B2、7,116,843、7,463,793およびその他の出願中の特許。

Quark、Quarkロゴ、およびQuark Publishing Platformは、Quark Software Inc.とQuark関連会社の米国およびその他各国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。